

# 野焼きからの火災にご注意を！

## 出火原因の第2位は「たき火」

令和2年中、全国での火災の総出火件数は34,691件で、出火原因の第2位が「たき火」、第5位が「火入れ」となっており、焼却行為によるものが上位を占めています。

当市の農村地域では、年間を通して害虫駆除等を目的に田んぼ、畦、土手の雑草焼却が行われています。

これからの時期は空気が乾燥し強い風が吹くことから、火災が発生しやすい気象状況となり野焼きからの火災が多発します。

また、近年はキャンプブームでもありますが、キャンプ場は山林に隣接していることが多く、火の使用を誤ると大規模な山林火災に至る可能性があります。



火を着ける前に「燃え広がったらどうなるか」、対策を考えておくことで火災に発展する確率は、ぐ～んと下がります。

## 【野焼きをする際の注意点】

- 風が強い時には行わない。
- 必ず2人以上で行い、完全に火が消えるまでその場を離れないこと。
- 風向きを考え少しずつ燃やし、水バケツ・消火器など消火の準備をしておくこと。
- 枯れ草等のある場所は、火災が起こりやすいのでたき火をしないこと。
- 喫煙は、指定された場所で行い、吸殻は必ず消し、投げ捨てないこと。
- バーベキュー等で火を使用する場合には、指定された場所で行い、そこを離れる時には、完全に火を消すこと。

※「火災と紛らわしい煙又は火災を発する恐れのある行為」を行う時は、山鹿市火災予防条例により、あらかじめ消防署への届出が必要です。